

## 2018年度 学校評価 自己評価(教職員) 調査用紙

回答者数 22 名

		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	未記入					
<b>教育方針に関して</b>											
1	キリスト教の精神に基づき、互いに愛し合い、助け合って生きていくことを生徒とともに考えることができている。	10	46%	8	36%	2	9%	8	36%	0	0%
2	生徒が明るく健康的な心身を目指し、自然や社会を正しく科学的に判断できる力をつけることができている。	8	36%	11	50%	3	14%	0	0%	0	0%
3	個人と集団の関係を考え、自主性・自発性・自治能力の育成がなされた。	10	46%	10	46%	1	5%	1	5%	0	0%
4	教育活動を行う教師集団づくりが大切にされていた。	5	23%	11	50%	3	14%	0	0%	1	5%
5	父母・教師・生徒が一体となった教育がなされていた。	8	36%	11	50%	2	9%	1	5%	0	0%
<b>学習活動に関して</b>											
6	教科の内容がマンネリにならずに、常に生徒の興味関心を引きつけるように工夫されていた。	2	9%	8	36%	8	36%	2	9%	2	9%
7	教師が生徒に学んでほしいことがはっきりと生徒に伝わった。	3	14%	8	36%	8	36%	1	5%	2	9%
8	学習に遅れのある生徒に対して、基礎学力が保障されるように工夫がなされていた。	5	23%	9	41%	6	27%	0	0%	2	9%
9	教科外においても様々な学習が用意されていたか。また生徒が自発的に参加するものであった。	6	27%	7	32%	5	23%	2	9%	2	9%
<b>進路指導に関して</b>											
10	進路指導がただの出口指導に終わらずに、多様な生き方を考えさせるような仕掛けがあった。	8	36%	9	41%	1	5%	0	0%	0	0%
11	進路に関する情報を生徒・父母に的確に伝えることができた。	3	14%	9	41%	8	36%	2	9%	0	0%
<b>生活指導に関して</b>											
12	生徒が問題を抱えたときに、本人のみならず周囲からも情報を集め、状況に応じて適切に対応することができた。	12	55%	9	41%	1	5%	0	0%	0	0%
13	教師が問題を1人で抱え込まず、父母・寮下宿管理人等の他者との連携を深めながら指導することができた。	9	41%	11	50%	2	9%	0	0%	0	0%
14	生徒理解のために、研修・学習を自発的に行った。	7	32%	6	27%	8	36%	1	5%	0	0%
15	いじめや体罰など生徒の学校生活を脅かすような問題に迅速な対応で臨める体制にあった。	11	50%	8	36%	3	14%	0	0%	0	0%
<b>地域との連携に関して</b>											
16	生徒の生活する環境を豊かにするために、地域との連携・交流を積極的に行った。	10	46%	6	27%	5	23%	1	5%	0	0%
17	地域に学校の取り組みが伝わるような取り組みを行った。	7	32%	9	41%	5	23%	1	5%	0	0%
18	ボランティア活動などを通じて地域とふれあうことを大切にしました。	11	50%	9	41%	1	5%	1	5%	0	0%